

令和3年度

しまね建築・住宅 コンクール

Architecture & Houses Competition
in Shimane



島根県



しまねの暮らし・住まい方

—新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して—



ごあいさつ

島根県知事 丸山 達也

島根県においては、人口減少、少子高齢化が進む中で、子育てに必要な環境づくりや地域コミュニティの維持、自然災害への対応など、様々な課題があります。

更に、新型コロナウイルス感染拡大による生活意識・行動の変化や、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた動きなど、暮らしを取り巻く課題やニーズは多様化しています。

こうした県が抱える諸課題や暮らしの変化に配慮した住宅・建築物の整備や活動の事例を募集し、優れたものをモデル事例として広く県民の皆様を紹介することを目的に、県では平成19年度から「しまね建築・住宅コンクール」を実施しています。

今年度は、建築物部門及び活動部門をあわせて49件の御応募をいただき、審査委員会においてこれらの応募作品・活動に対する厳正な審議を行った結果を踏まえ、最優秀賞の「湖畔の家」をはじめとする、建築物11件、活動7件の合計18件の受賞作品・活動を選定いたしました。

受賞された皆様には、心からお祝いを申し上げますとともに、今回受賞には至らなかったものの、魅力的な作品・活動を御応募いただきました皆様、審査を行っていただきました委員の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

県では、今後とも、安全・安心で豊かな住生活の実現に向け、様々な取組を進めて参ります。県民の皆様におかれましても、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶といたします。

令和4年3月

選考総評

審査委員長 細田智久

令和3年度のしまね建築・住宅コンクールは5年ぶりにテーマを改め、「しまねの暮らし・住まい方—新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して—」と題し、建築物部門と活動部門の募集を行い、49件の応募がありました。今年度もコロナ禍の中でしたが多くの応募があり、多彩な作品や活動に対する審査となりました。

第一次審査では、応募書類により、二次審査への通過作品を各部門あわせて29件選出し、第二次審査では現地審査を行った上で、審査委員により、表彰候補18件を選定し、その中から最優秀賞1件、優秀賞6件、奨励賞8件、そして3件を特別賞に決定しました。

最優秀賞に選定した「湖畔の家」は、松江市内の宍道湖北岸に新築された木造2階建の店舗併用住宅です。テレワークが増える新たな日常の中でも、宍道湖北岸からの素晴らしい眺望と共に豊かな生活をおくることができるこの建築は、今年度のテーマのモデルとなる作品です。

優秀賞には、建築物部門から「『専光寺』鐘楼門」「株式会社シーエスエー 新社屋新築工事」「雲南古民家2021」「Entô Annex NEST」「古民家カフェ『茶と糍 梅田屋』」と、活動部門から「つどえる拠点&ゲストハウス コイサイド」の計6件を選定しました。これら優秀賞は、優れた建築デザインと共に、改修による再生、地域活性化、利用者や家族への配慮などに優れた創意工夫が見られた点を高く評価しました。

奨励賞には、8件を選定しました。建築物部門からは「Y邸 新築工事」「いわみ温泉『霧の湯』」「西ノ島町庁舎」「なかのや旅館」「ひよし保育園」と、活動部門から「空き家で人をつなぐ」「栗寅」「どっこい舎」を選定しました。さらに、特別賞には「蔵宿 うずまき」「レンタルスペース&キッチン 金吉屋」「禾と恵に咲くお宿 まつ」の3件を奥出雲町での一連の活動として選定しました。

コロナ禍も丸2年が経ち、常に緊張感のある新たな日常の中では、穏やかな笑顔や安心を生む生活や暮らし方が求められています。受賞された建築物や活動が今後のしまねの暮らしを支えるモデルとなることを期待しています。

令和4年3月

募 集
テーマ

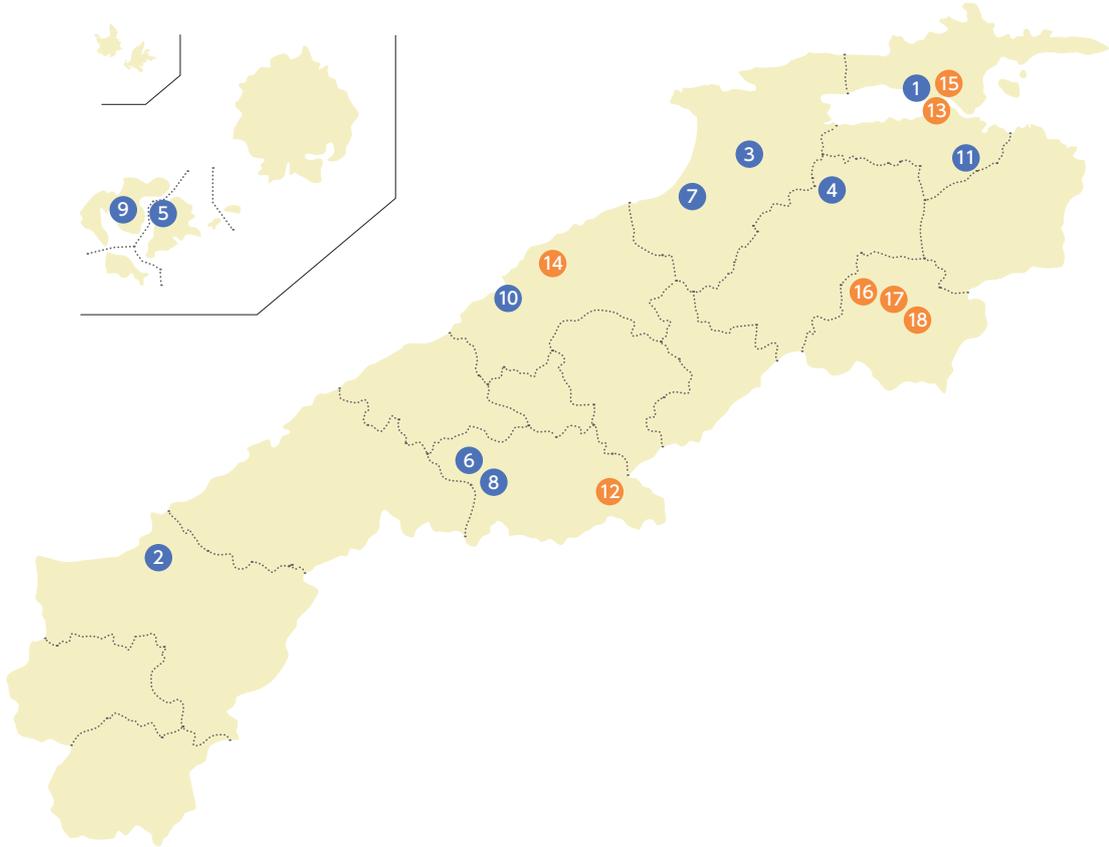
しまねの暮らし・住まい方

—新たな日常のなかで、
笑顔で暮らせる島根を目指して—



表彰銘板(石州敷瓦)

受 賞
物 件



【建築物部門】

- ① 湖畔の家
松江市
- ② 「専光寺」鐘楼門
益田市
- ③ 株式会社シーエスエー 新社屋新築工事
出雲市
- ④ 雲南古民家2021
雲南市
- ⑤ Entô Annex NEST
海士町
- ⑥ 古民家カフェ「茶と糍 梅田屋」
邑南町
- ⑦ Y邸 新築工事
出雲市
- ⑧ いわみ温泉「霧の湯」
邑南町
- ⑨ 西ノ島町庁舎
西ノ島町
- ⑩ なかのや旅館
大田市
- ⑪ ひよし保育園
松江市

【活動部門】

- ⑫ つどえる拠点&ゲストハウス コイサイド
邑南町
- ⑬ 空き家で人をつなぐ
(ヨコバマcoffee、よこばまギャラリー)
松江市
- ⑭ 栗寅
大田市
- ⑮ どっこい舎
松江市
- ⑯ 蔵宿 うずまき
奥出雲町
- ⑰ レンタルスペース&キッチン 金吉屋
奥出雲町
- ⑱ 禾と恵に咲くお宿 まつ
奥出雲町

湖畔の家



宍道湖に面する敷地の魅力が詰まった 宝石箱のような建築

この建築物は松江市西浜佐陀町に新築された木造2階建の店舗併用住宅です。1階は土間空間の店舗と水回りを備えた和室、2階にLDKや寝室などの生活空間が計画されています。

将来に向けた事業性や世帯人数の変化にも配慮され、1階の和室は民泊としての貸し出しも可能で、子どもたちが巣立った後は1階の和室と店舗部分を夫婦の生活スペースとし、2階は賃貸として貸し出すことも考えられています。これに備えるため、1階の主玄関と勝手口玄関・階段ホールとの間は区画できます。

また、和室の天井には葦をあしらった合板、目透しの引き戸には織糸の採用など、随所に高いデザイン性が感じられます。

さらに、2階ベランダの腰壁の高さは103cmとし、LDKの椅子から宍道湖を見た際に、手前のテラポットが隠れるように調整されており、宍道湖と奥出雲の山々を絵画のように切り取ります。室内各所の窓からは、湖面だけでなく、堤防上を散歩する人、シジミ漁の漁船、水鳥の鳴き声など、自然が作り出す動きや音も楽しめます。

宍道湖北岸の敷地が持つ魅力と可能性を、再発見できる作品です。

(細田智久)

建築主 ◯ 個人

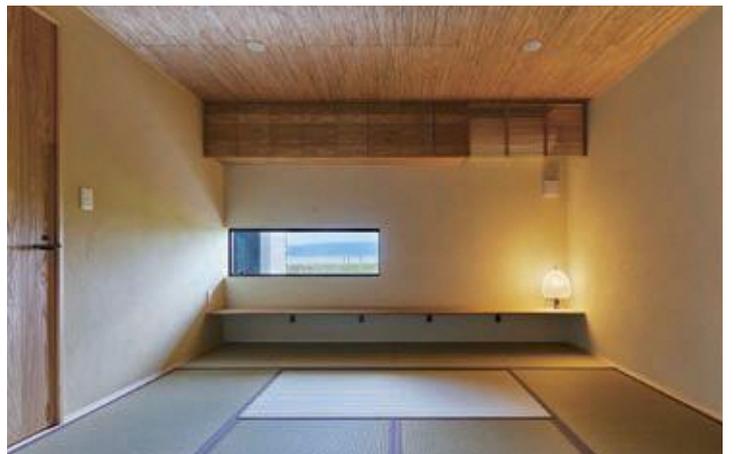
設計者 ◯ Re:ception 永野 新

施工者 ◯ 株式会社 たなべの社



建物概要

- 所在地 / 松江市
- 用途 / 店舗併用住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築



せんこうじ 「専光寺」鐘楼門



伝えることと守ること～形と心の継承

浄土真宗本願寺派普月山専光寺は、益田市内の高台に位置し、県道久城インター線を浜田方面に向けて走ると、その本堂の大屋根が見えます。420年以上の歴史があるお寺で、その鐘楼門は築後300年が経過し、老朽化により、建替えられることとなりました。そしてこの度、約1年の工期を経て、美しく甦りました。鐘楼門の位置や大きさは建替え前とほぼ同じですが、獅子や猿など木鼻の一部は再利用され、新たに造られた彫刻とも違和感なく調和し、随所に宮大工の精巧な手仕事が見て取れます。

普段、一般の方は、本堂と同じ高さにある駐車場からアクセスされることが多いと思いますが、本来の参道である石段を登ると、徐々に見えてくる鐘楼門の姿は荘厳で、その造形は見応えがあります。

鐘楼門をくぐった先には、手入れの行き届いた境内が広がります。日々の奉仕作業など、ご熱心な門信徒の方々が多いと伺いました。

“造り手である宮大工は技法・技術という形を継承し、守り手であるご住職や門信徒の方々には日々のお勤めや奉仕を重ね、その心を伝える”。令和の改築には、次世代へ繋ぐメッセージが込められているようでした。今回拝見するご縁に恵まれたことに感謝いたします。
(福原昌代)

建築主 ● 宗教法人 普月山 専光寺

設計者 ● 石原社建築設計事務所

施工者 ● 株式会社 石原建築



建物概要

- 所在地 / 益田市
- 用途 / 寺
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築



社員が元気に働けるIT企業の社屋

この建物は地元出雲のソフトウェア開発会社の本社社屋です。以前のオフィスは、ビルの2階と3階に分かれていたそうですが、この新社屋は、木造平屋建てのワンフロアのオフィスとなっており、業務効率も良くなったのではないかと思います。

リフレッシュスペースを利用しやすいように、執務室の入口近くに設けるなど、社員の満足度が高くなるような仕掛けが随所に見られます。

また、建築的な特徴のひとつとして、屋根の野地板にCLT（直交集成板）を現しで用いていることがあります。ソフトウェアの開発という先進性と、木材でも比較的新しい技術であるCLTとの組み合わせがマッチングした、建材の上手な使い方であると思います。

内装材に木を多用すると、ログハウスのようなイメージになりがちですが、事務所建築として認識できるよう上手くデザインされているところが、設計者のセンスの良さの表れであると思いました。

敷地には芝生が設けられ、クリスマス前には社員の方がライトアップをしたり、オーナーが薔薇を植えられたりしており、皆に愛されている社屋だということが感じられました。

ここで働く社員の方の笑顔が感じられる事務所建築だと思います。

(坂本拓三)

建築主 ● 株式会社 シーエスエー

設計者 ● ヒロシ 株式会社

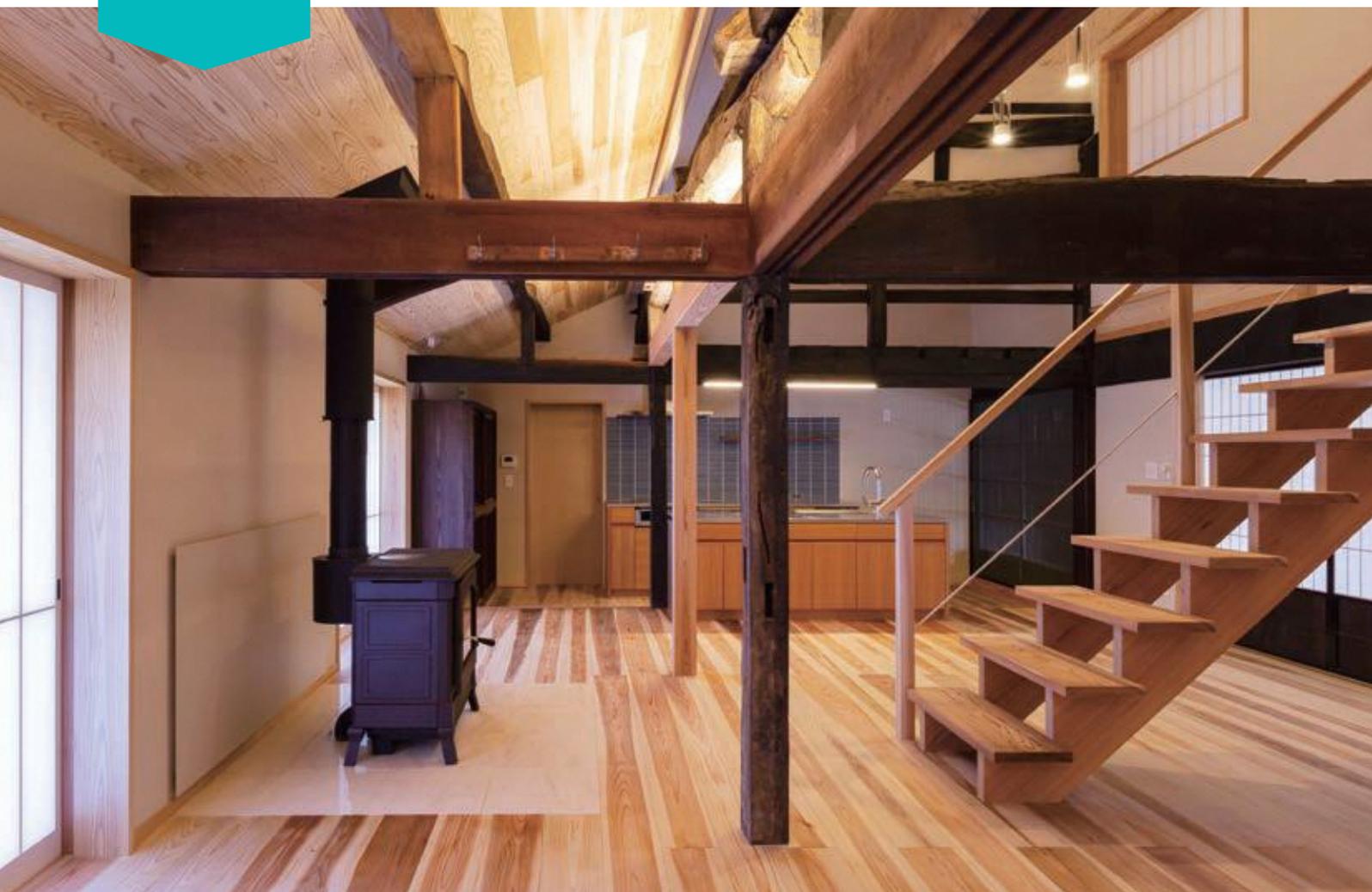
施工者 ● ヒロシ 株式会社



建物概要

- 所在地 / 出雲市
- 用途 / 事務所
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築

雲南古民家2021



風土と人が紡ぐいえ

田園風景の中、木々を背負い、南に面した威厳ある佇まいの母屋。北側に新たに設けられた窓は、地域に開かれた印象を与えています。ゆったりとした前庭にある植栽の中に、新たに植えられた木が象徴的でした。

住まい手さんは3年にも渡る古民家探求の後、この伸びやかで長閑な展望と農地が決め手となり、この地に移住されたそうです。

大きな古民家の修繕、改修は、“求められるもの”と“得られるもの”のコストのバランスが難しいのが常ですが、限られた予算の中で、耐震性、断熱性、快適性に配慮されています。

建物中央に耐震コアを設け、構造的なバランスを整えることで耐震性を確保されている一方で、表の続き間や蔵は、住まい手自らが手を掛けながらこの家と長く暮らすことを想定し、あえて大きな改修を加えず残した上で、北側の新たなリビングを家族の生活の中心としています。改修により現れた梁は大切に修繕され、家族が集うスペースに躍動感を与えながら、建物の歴史と骨格をしっかりと主張しています。

足すものと足さないもの。残すものと残さないもの。魅せるものと見せないもの。過去と現在とこれからへの細やかで大胆な心遣い。

住む人を得た家が伸びやかに呼吸をしているような、そんな印象を強く感じさせる住まいです。
(坪倉菜水)

建築主 ◉ 個人

設計者 ◉ 一級建築士事務所 江角アトリエ

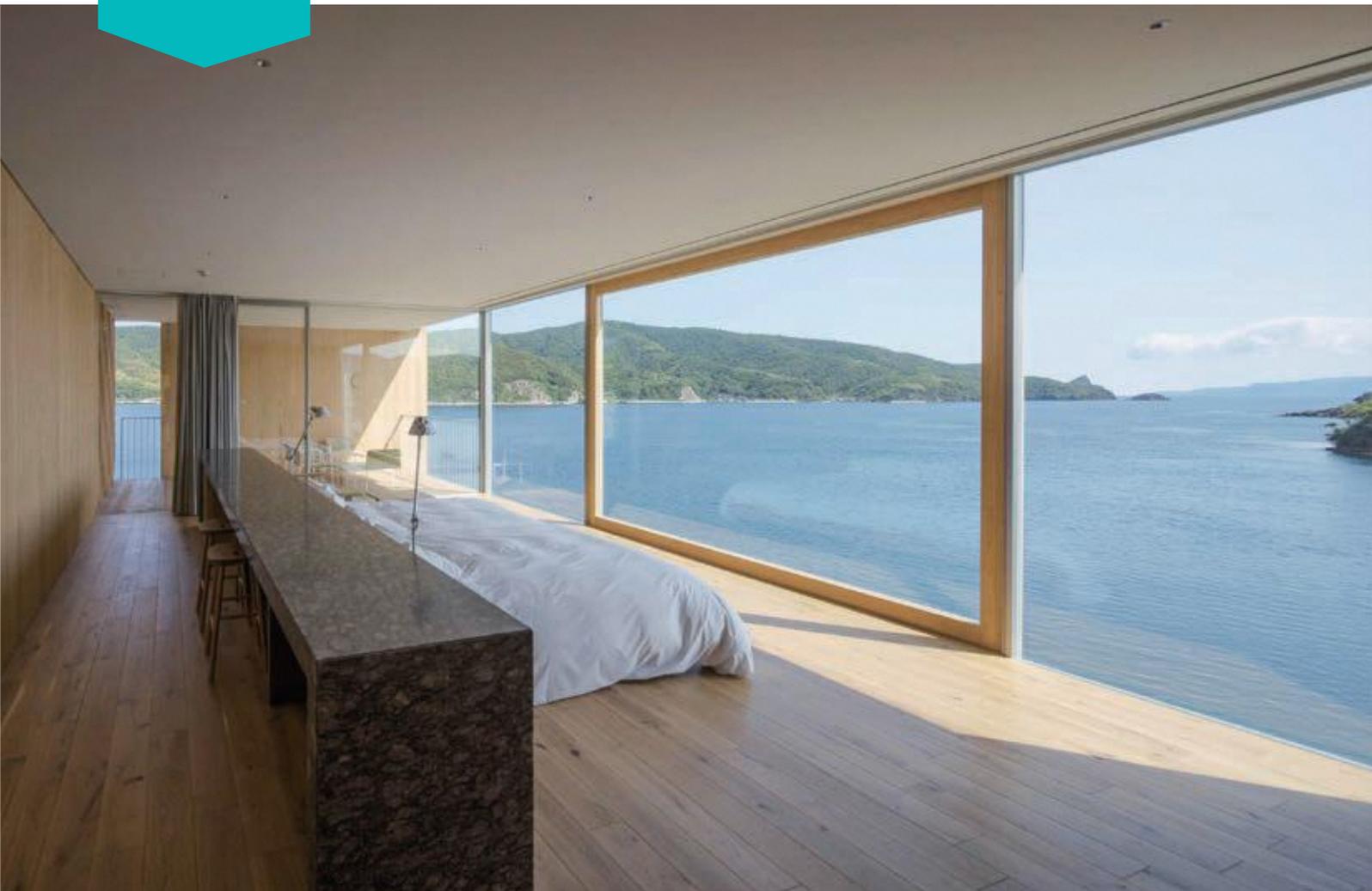
施工者 ◉ 有限会社 森山建築工業



建物概要

- 所在地 / 雲南市
- 用途 / 住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 改修

Entô Annex NEST



島根の海を最も近く、最も美しく見ることができる建築

これは隠岐諸島島前の海士町に新築されたCLT（直交集成材）を用いた木造3層の建築物で、地下1階には隠岐ユネスコ世界ジオパーク拠点施設と宿泊機能、1階と2階が宿泊機能となる複合施設です。間口を広く計画された宿泊室から見る入江の眺望はまさに絶景です。この絶景を切り取るためのガラス窓は細部まで意匠性にこだわったものです。

また、宿泊室への入口部分のデッキスペースは海側に開放され、背面のCLTは網目状に抜けが作ってあり、海風が吹き抜ける工夫が施されています。手すりやルームナンバーなどのサインも木材に映えるシンプルなデザインに抑えられ、軽やかな印象を与えます。

さらに運営面でも工夫があり、港内の観光協会窓口でチェックインすれば、ホテルのフロントを経由することなく、建物中央にある螺旋階段から直接宿泊室へ入ることができます。海士町が持つ海・波・空気・風・緑といった自然環境の素晴らしさを驚くほど印象的に体感することができる優れた作品です。

（細田智久）

建築主 ● 海士町

設計者 ● 株式会社マウントアジャークレックススタジオ一級建築士事務所

施工者 ● 前田建設工業・鴻池組特別共同企業体



建物概要

- 所在地 / 海士町
- 用途 / 宿泊施設
- 構造 / 木造一部鉄筋コンクリート造
- 工事種別 / 新築

古民家カフェ「ちゃ こうじ うめ だ や茶と糍 梅田屋」

ゆっくりとした時の流れを感じながら楽しむカフェ

邑南町で古くから「たたら業」を営まれていたご実家が空き家となっていたことから、地域の憩いの場として利用してもらうために、古民家カフェとしてリフォームされています。

門から和風庭園を眺めながら建物入口へ誘導される外観は、木製建具と透明ガラスで統一され、落ち着いた洋風の玄関へ違和感なく導かれます。玄関に入れば、ゆったりとした空間が広がり、屋号の梅の絵が描かれた襖と漆喰の壁により程よい調和を保っています。

店内の正面は、天井まである大きなガラス越しに、歴史ある白壁の蔵とその向こうにある山並みが目に入る開放感のある落ち着いたテーブル席へと改修されています。テーブル席と和室を分ける建具をモダンな格子戸とすることで、洋と和が上手く馴染み、室内を明るく演出しています。江戸時代の茶室や裏庭、古風な和室はそのままに、訪れた方が回遊できるように工夫されており、お子様連れから高齢者の方まで、様々な世代の方がゆっくりと寛げる空間となっています。
(三浦貴之)

建築主 ● 茶と糍 梅田屋

設計者 ● 俵・小島建築設計事務所

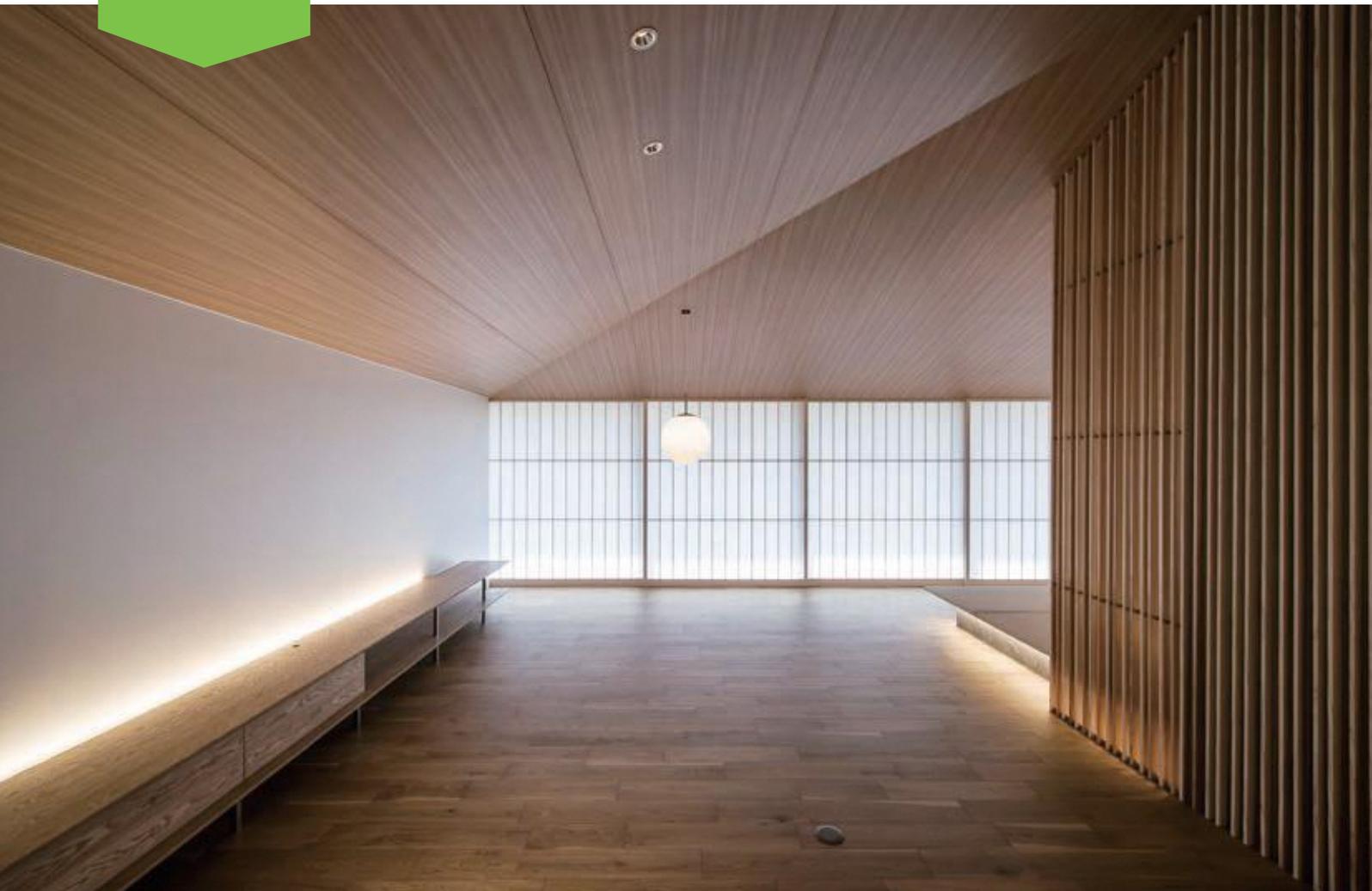
施工者 ● 有限会社 中田工務店



建物概要

- 所在地 / 邑南町
- 用途 / 店舗併用住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 改修

Y邸 新築工事



島根に現れた桂離宮

この建物は出雲市江南の集落に建つ住宅です。

オーナーは、「桂離宮のような住宅を建てたい」と設計者に依頼したそうです。桂離宮は、ブルーノ・タウトというドイツの建築家が日本のモダニズム建築として絶賛し、世界に紹介した建物です。この依頼に設計者は、大胆な設計によって、桂離宮の建築的な特徴を実現しています。

ひとつは、「平屋建ての高床式」を採用したことです。これにより生じた玄関と居住域との高低差が、変化に富んだ内部空間を演出しています。

次に、緩勾配の伸びやかな金属板葺による入母屋屋根です。このデザインが全体のプロポーションを引き立てています。

そして、開口部をほぼ南面のみとし、出来るだけ建具で仕切らず、開放的な空間とした回遊性のある平面です。

外壁には、シルバーグレーの鋼板を縦格子として用いており、周辺環境と調和したよい選択であったことを感じられます。

オーナーの意図と設計者の力量が高い次元でまとまり、桂離宮のように簡素さの中にも美が感じられる素晴らしい住宅建築だと思います。（坂本拓三）

※桂離宮（京都市）：江戸時代に皇族の別邸として建てられた施設で、高床式の建物、茅葺き入母屋造りの茶室、市松模様の襖、回遊式の庭園などが特徴です。

建築主 ● 個人

設計者 ● 有限会社 牧戸建築環境設計事務所

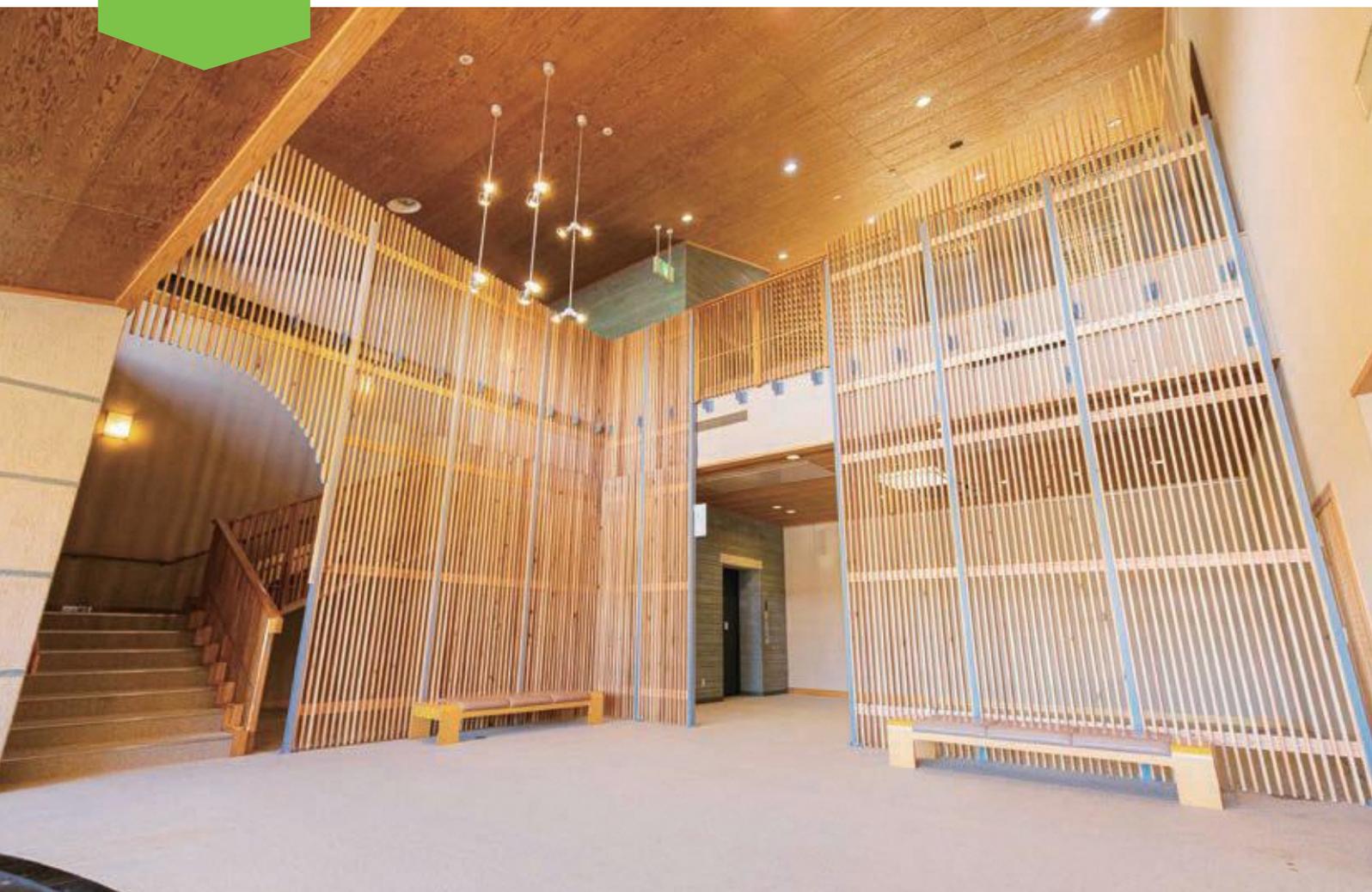
施工者 ● ヒロシ 株式会社



建物概要

- 所在地 / 出雲市
- 用途 / 住宅
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築

いわみ温泉「霧の湯」



リズムカルな杉の縦格子をまとして再生された温泉

この作品は邑南町が運営する2階建の温泉施設の改修です。香木の森公園から摘み取ったハーブや薬草の露天風呂がある温泉施設ですが、建物の老朽化や新たなファンの獲得が課題とされていました。建物内外のイメージを一新させるため、町産の杉材を使用した縦格子壁を外装・内装に付加しています。縦格子壁は上部が曲線を描くように高さを調整されて配列され、軽やかなイメージを創り出し、若い家族世帯にも気軽に利用してもらえる空間を生み出しています。

屋外の杉材は窒素加熱処理により耐久性を高め、頂部小口はハーブをイメージする淡い色で着色されています。エントランスを入り出す際に、この着色した小口がリズムカルに見える仕掛けとなっています。屋内2階でもこの杉材の縦格子壁を組み合わせたエステルームやパウダールームが新たに設けられ、隣接するレストラン棟では屋外にウッドデッキテラスが設置されています。かつて石材などを用いて重厚に作られた公共施設に対し、新たなニーズに対応する装いを追加する手法を提案した作品です。

(細田智久)

建築主 ● 邑南町

設計者 ● 株式会社 y+M design office

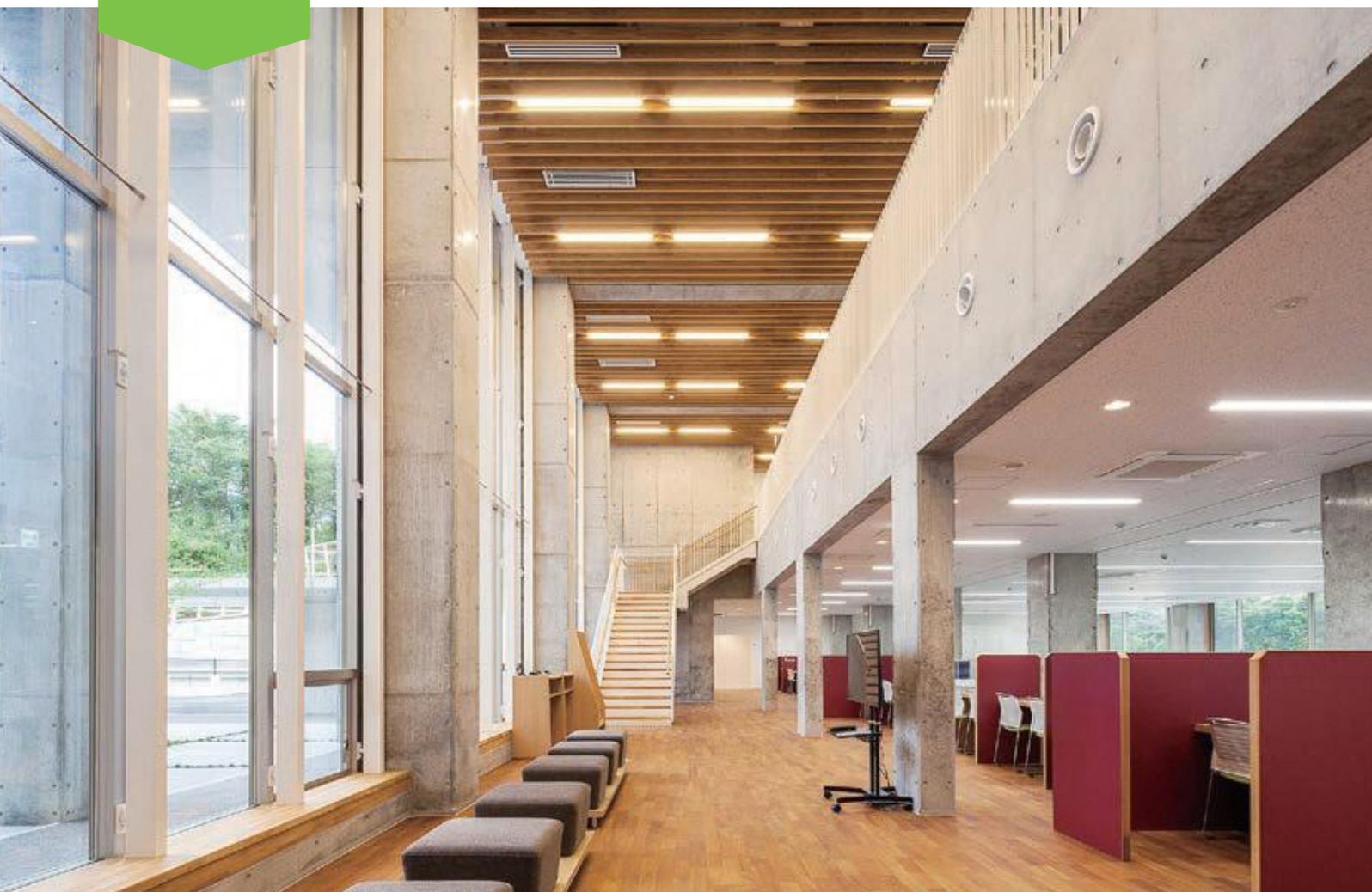
施工者 ● 石見工業 株式会社



建物概要

- 所在地 / 邑南町
- 用途 / 温泉施設
- 構造 / 鉄筋コンクリート造
- 工事種別 / 改修

西ノ島町庁舎



安全安心で親しみやすい離島の庁舎

この建物は隠岐島前に建つ町役場です。

設計者は、山陰の設計事務所を対象としたプロポーザル方式により、選定されました。この設計提案が選ばれたのは、島の風土と環境を読み込み、防災拠点としての機能性や環境対策に配慮されていたのでしょう。

まず、特徴的なのは建物の平面計画です。大胆にも、敷地北側のメイン道路とは反対側を建物正面とし、町民が利用される多目的広場を計画されています。

敷地外周を巡る道路と多目的広場の回廊が、二重の回遊空間を構成し、大変ユニークな建物配置となっています。

建物内部においては、天井ルーバー越しに見える、ハイサイドライトに排煙窓としての機能を持たせてあり、自然光の効果的な取り入れと火災時の排煙機能を、建築意匠的に高次元で両立されています。また、専用の議場は設けず、大会議室と兼用されていることも、スペースの有効利用の点で、この建物の特徴です。

この建物は、利用しやすさ、風雨時の安全性や長期の維持管理性能が重視されており、町民の皆さんが利用しやすく、親しみやすい庁舎となっています。

建物配置には驚かされましたが、設計者の力量と経験が高次元で融合した庁舎建築と言えるものであったと感じました。
(坂本拓三)

建築主 ○ 西ノ島町

設計者 ○ KIK設計共同企業体
アイエムユウ建築設計事務所・
木下建築研究所・環境設備計画

施工者 ○ 鴻池組・松江土建・渡辺工務店特別共同企業体



建物概要

- 所在地 / 西ノ島町
- 用途 / 庁舎
- 構造 / 鉄筋コンクリート造
- 工事種別 / 新築

なかのや旅館



町並みをつくる温泉旅館

この旅館は、大田市温泉津重要伝統的建造物群保存地区にあり、温泉街の歴史的景観を形成している建物の一つで、歴史を感じさせる風情を残しながら丁寧に改修されています。

旅館へのアプローチは、ゆるやかに傾斜する道沿いに植栽が設けられ、木製建具の柔らかな雰囲気が視線を建物内へ導きます。玄関横のバーラウンジと食事スペースは、外部へ開かれたスペースとして新たに整備され、土壁の内壁と天井の角を曲面とすることで柔らかな陰影を生み、落ち着いた空間を表現しています。テーブル席からの眺めは、外部建具の高さに配慮されていることで、アプローチの植栽越しに見える町並みと程よい繋がりが保たれています。

二階の旅館部分は建物の歴史に配慮され、改修部の材種を既設に揃え柿渋を塗布されたことで、うまく馴染んでいます。客間に繋がる縁側の木製連窓建具は温かな質感とスリガラス越しの採光が柔らかく、懐かしい時間を心地良く過ごせる空間となっています。

(三浦貴之)

建築主 ● 河野 次郎

設計者 ● 有限会社 ナック建築事務所

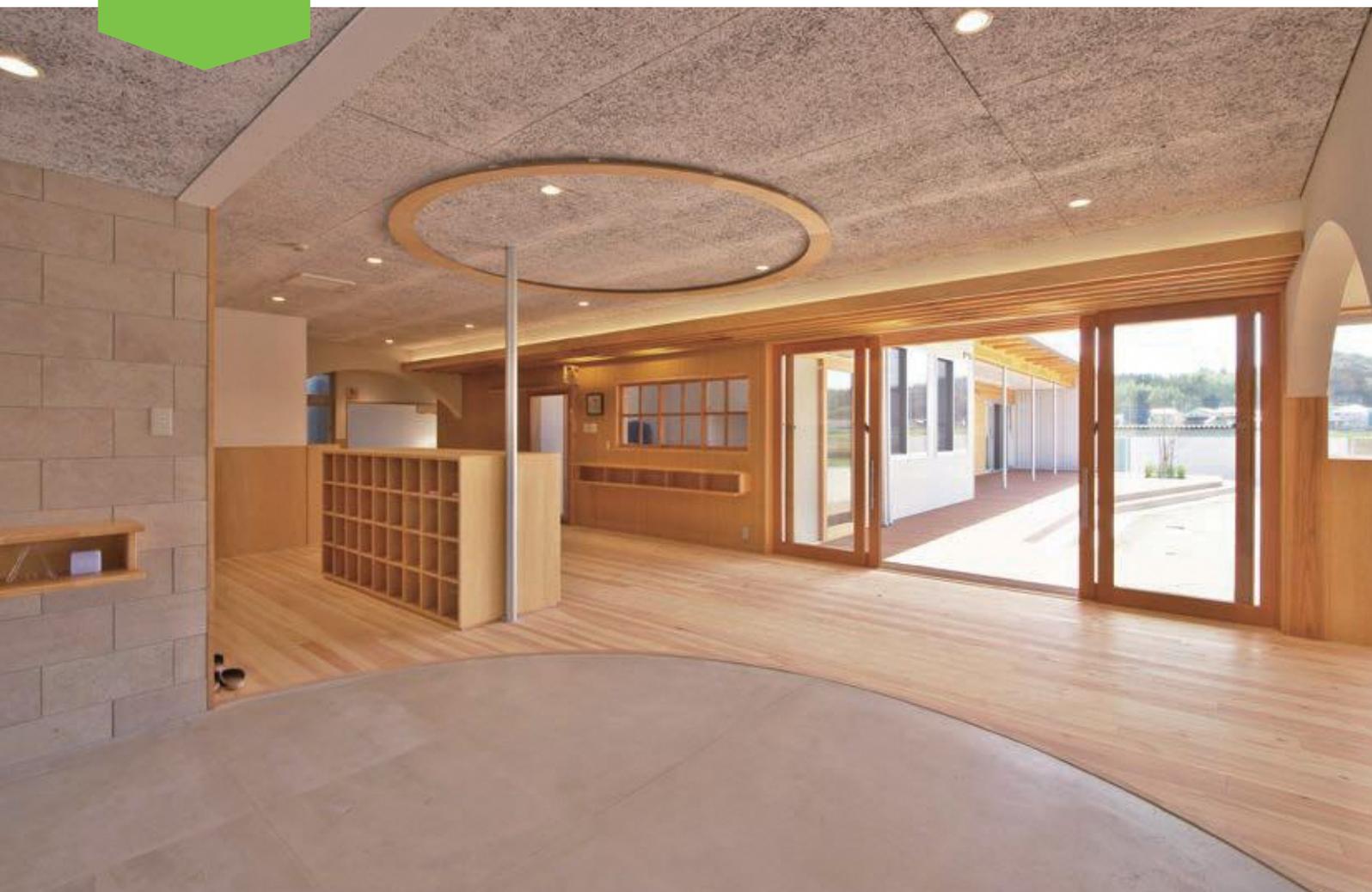
施工者 ● 石原工業所



建物概要

- 所在地 / 大田市
- 用途 / 宿泊施設
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 改修

ひよし保育園



外へと広がる子どもたちの世界

道路側は、低く抑えた軒と高さのある塀で表現した水平ラインによって、町に穏やかな表情を与えています。エントランスへは塀の両サイドからアクセスでき、駐車場からの動線は安全面に配慮して屈折しており、季節の草花が楽しめる小さな散歩道のようなのです。

エントランスは、ほぼフラットな上框に、正面に広がる開放感のある窓越しの園庭、軽やかな木枠のガラス窓により視認性のよい職員室、広々とした下駄箱スペースなど機能的であると共に、朝には子どもたちが期待感を持てるよう迎え、降園時には優しく送り出す工夫がされています。

園庭を取り囲むようにL形に配置されたデッキを通じて、全ての保育室が園庭に面しており、明るさと開放感のある空間となっています。園庭からは建物越しに八雲の山の稜線を臨み、道路の喧騒を遮断しつつも、豊かな自然を感じながら過ごせる工夫がされています。

木組みのトラス越しに自然光が溢れる遊戯室は、子どもたちの通路でもあり、まるで広場のような趣です。

構造材や、多くの部屋の床フローリングに地松を使用し、地域産材と子どもたちが触れ合えるぬくもりのある生活空間がそこにあります。 (坪倉菜水)

建築主 ● 社会福祉法人 ひよし福祉会

設計者 ● 蔵本総建コンサルタント

施工者 ● 株式会社 佐藤組



建物概要

- 所在地 / 松江市
- 用途 / 保育園
- 構造 / 木造
- 工事種別 / 新築

つどえる拠点&ゲストハウス コイサイド



人が繋がる鯉料理

この活動は、邑南町口羽地区で愛されている鯉食文化の衰退に危機感を抱かれた主催者の、鯉食文化の拡大と地域資源の利活用を軸とした、地域の活性化への取り組みです。

コイサイドは食用鯉の養殖場「鯉の里よほしば」に隣接する空き家を、ワークショップ形式で改修した建物で、ここでは、鯉料理が味わえる居酒屋を定期的に開催されています。そこでの集いが地区の長い歴史と文化の伝承に繋がり、地域の魅力度アップになるのではないかと感じます。改修では、地域の方を始め、矢上高校の生徒さんやデザイナーの方の参加によるワークショップを中心に、日本古来の建築技法を大切に再現され、古いものを再利用して新たな活用方法で施工されています。土壁は下地から上塗りまで全てDIYされ、玄関の土間タイルは、古い瓦をカットしたものを利用しており、味わいのある仕上がりとなっています。

ゲストハウスとして利用される1階のログハウス風の部屋などは、内装だけでなくベッドなどの家具までもDIYされており、とても暖かみを感じます。

今後もコイサイド周辺の蔵や納屋などの改修をワークショップで計画されており、このようなストック活用が地域のにぎわいの創出に繋がるのではないのでしょうか。

(三浦貴之)

活動実施者 ◯ 河野 光也

主な活動場所 ◯ 邑南町



空き家で人をつなぐ

(ヨコバマcoffee、よこばまギャラリー)



町と人々が会話する場

ヨコバマCoffee、よこばまギャラリーは、かつて松江城築城のための大工や左官、漆職人などの職人が多く集まる町の中ほどに位置した、神具店であった建物が舞台です。

ご実家であるこの建物を、一時は取り壊すことも考えられていた所有者さん。神具の片付けをするうちに、坪庭のある町屋の美しさに気づき、“この場所を皆が集う場所にできないか” そんな思いから始まった再生プロジェクトは、ご家族や近隣を巻き込み、広がっていきました。

2019年には町内会役員、大学生との大掃除、「ご縁カフェ」を試験的に開催し、好評を得られています。

更に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、2020年には町民の作品を集めた展示会を開催されています。

確かな手ごたえからご縁が繋がり、その後も町内会と連携した町歩きの開催やオンライン配信も活用した読書会、他団体との交流など、関係人口は広がり続けているそうです。

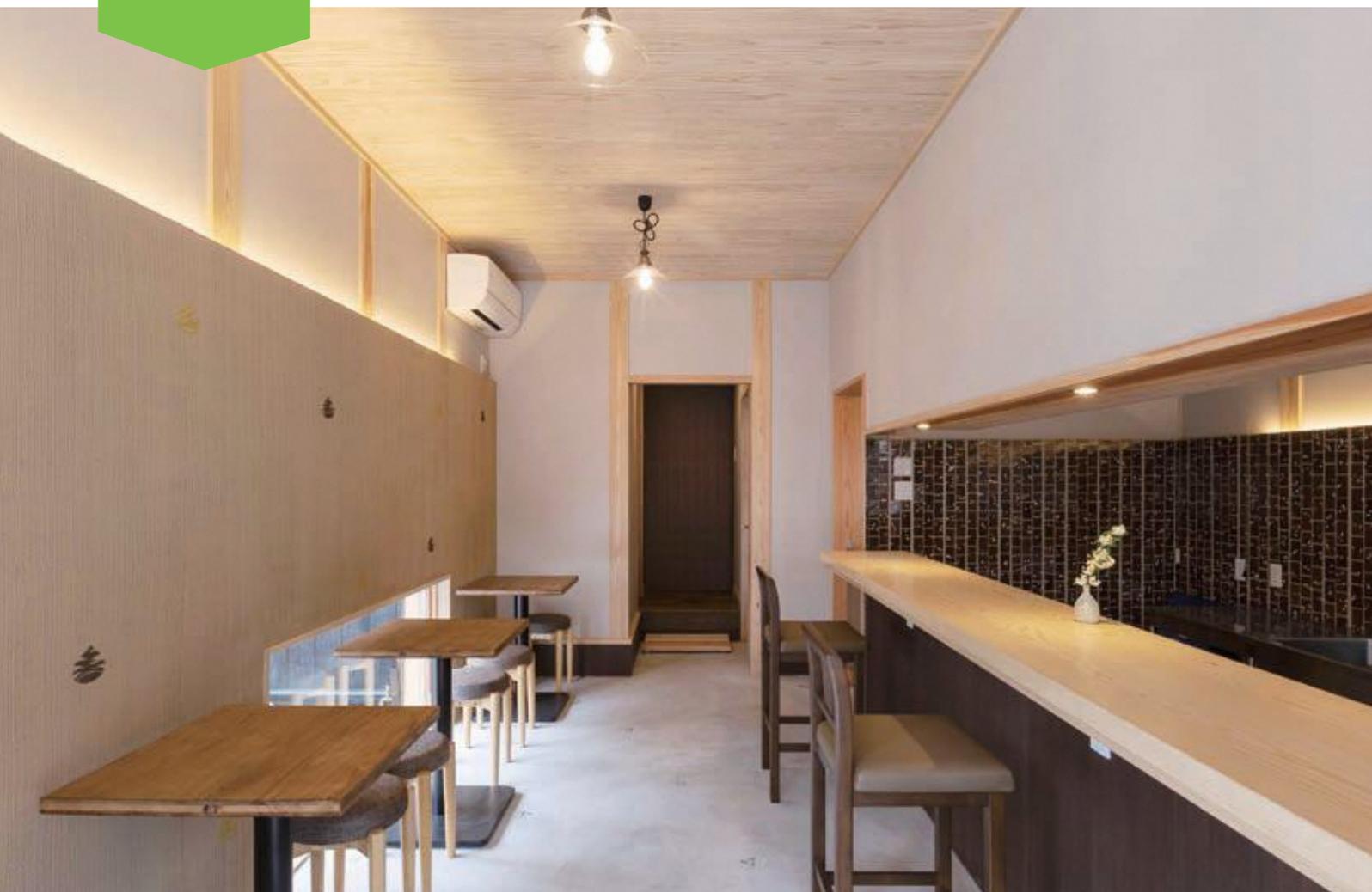
建物は、ギャラリーでもありカフェスペースでもある土間の店舗スペースやそこから繋がる坪庭に面した座敷スペースなど。

また、坪庭の奥もまだまだ可能性が沢山あり、丁寧に理想を持って改修されたことが伝わる、美しく穏やかな空間となっています。 (坪倉菜水)

活動実施者 ◯ 個人、横浜町町内会

主な活動場所 ◯ 松江市





ふっくらと優しい味わいの栗饅頭が食べられる地域の語らいの場

この活動は、長年福祉や青少年の相談に関わってきた施主が、大田市の旧商店街の一角に店舗併用住宅を新築し、饅頭屋を新たに営みながら、悩みを抱える若者や高齢者の方々に対して語らいの場所を提供されているものです。木造2階建の建物は、漆喰と焼き杉板張りの外装、土間があり左官壁やタイル張りで仕上げられた内装など、建築作品としても高く評価できるものです。通りに面する店舗入口と厨房には大きなガラス窓が配置され、空き店舗が増えた商店街において、にぎわいと明るさを感じさせる場所になっています。

施主は、この店舗を悩みを抱える若者の育成の場としても考えておられます。実際に若者をお饅頭作りや包装づくりのアルバイトとして雇われ、彼ら彼女らがこの建物で地域の様々な方々と交流し、自分が作ったものをお客さんに提供することを通じて、社会と繋がりを持つことは、自身やそのご家族にとって、日々の喜びにつながっていると思います。施主の温かいお気持ちに感動いたしました。

(細田智久)

活動実施者 ◯ 南良原 悦子

主な活動場所 ◯ 大田市



どっこい舎



楽しむことは正義

どっこい舎は町のみならず、全てのフィールドで「場」と「楽しい」を創造するグループです。どっこい舎は町から楽しみを見つけ出す天才でもあります。

松江大橋の袂、道路拡張で空き地となった空間に突如現れた屋台、焚火とそれを囲む六角のベンチを目にした人も多いのではないのでしょうか。この「ROKKAKU」というイベントは不定期で松江大橋袂に出現するバーであり、交流の場でもあり様々なイベントも行われています。

この他にも、廃業した舟木鐵工所でのカフェとギャラリーのイベントや寺町の長満寺の境内を舞台としたミニシアター、矢田渡船との協力で企画された、大橋川の中州を利用した狐森島のキャンプ場など、新たな視点から、町に新たな場を創造しています。

「最速で創造し、最速で失敗し、最速で成し遂げよう。」グループのメンバーから聞いた言葉です。

イベントを企画するだけでなく、そこに在る場や人々にアクセスし、思いを汲んで継続性のある事業を模索し、自らも関わりそれを根気よく続けていく。どっこい舎の「最速」は単なるスピードではなく、町を見る確かな視点とそれを成す熱意なのだと感じました。

(細田智久)

活動実施者 ◯ どっこい舎

主な活動場所 ◯ 松江市



活動部門

特別賞

蔵宿 うずまき



活動実施者 ◯ 山田 洋介

主な活動場所 ◯ 奥出雲町



レンタルスペース&キッチン かねよしや 金吉屋



活動実施者 ◯ 株式会社 OKU-Reno.

主な活動場所 ◯ 奥出雲町



のぎ めぐみ 禾と恵に咲くお宿 まつ

活動実施者 ◯ 有限会社 咲楽 代表取締役 内田咲子

主な活動場所 ◯ 奥出雲町



奥出雲町で広がる古民家を活用したおもてなしの空間

この特別賞は、奥出雲町での古民家を活用した3つの取り組みをまとめて表彰するものです。

まず、「蔵宿 うずまき」は、三沢地区鴨倉の築86年の古民家を改修し、宿泊兼飲食施設とされています。沖縄県から移住された方々が、和洋折衷の特徴的な建物を活用し、地元食材によるコース料理を提供されています。周辺の棚田や山々の眺望が宿と食事に彩りを与えています。

次に、「レンタルスペース&キッチン 金吉屋」は、三沢地区の中心地にある築170年の古民家を地区の若者会で改修し、会社オフィス、レンタルスペース&キッチンとして活用されたものです。レンタルキッチンは地域団体のお弁当作りに利用され、地区の方々に配達されています。地域に賑わいを生み出す拠点として期待されます。

最後に、「禾と恵に咲くお宿 まつ」は、横田地区の中心地にある築80年の和菓子屋の店舗・工場兼住宅を増改築し、1棟貸し宿にされたものです。外観は焼き杉張りとし砂鉄を混ぜた塗壁が落ち着いた雰囲気、内部はガラス間仕切り越しに中庭が見え開放感があります。宿泊施設が少ない横田の状況や町並みづくりへの施主の思いが詰まった建物です。

これら3作品は、それぞれが建築物又は活動部門に応募されたものですが、奥出雲町を舞台にした個性的で素晴らしい取り組みであったことから、審査委員会において、特別賞として評価させていただきました。

それぞれの活動が相まって、奥出雲という地域を盛り上げていくことを期待します。

(細田智久)

募集要項・審査経過・審査委員

募集テーマ

しまねの暮らし・住まい方

— 新たな日常のなかで、笑顔で暮らせる島根を目指して —

応募条件

●島根県内において、令和3年9月10日までに整備又は実施されたものであって、下記に該当するものです。

●応募は自薦・他薦を問いません。個人・団体・企業・自治体等、どなたでも可能です。

なお、部門は「建築物部門」、「活動部門」の2種類あります。

募集要件

建築物部門

概ね5年以内に建築（新築、増築、改築または移転）、修繕、または模様替えされた建築物（建築物の一部またはその敷地を含む）であって、募集テーマに即した、以下のいずれかに該当するもの

- ① 建築主、利用者などに配慮したもの
- ② 地域特性を活かしたもの
- ③ 既存建築物を活用したもの
- ④ 環境に配慮したもの
- ⑤ 新たな生活様式への提案であるもの
- ⑥ 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの

例えば

- 楽しく子育てできるよう工夫がされた家
- 地域の活性化を目的としたコミュニティ施設
- 空き家を活用した施設
- ゼロエネルギーを目指した住宅
- テレワーク対応の住宅やワーキングスペースを設けた施設

など

活動部門

募集テーマに即した住生活に関連する取組や活動であって、以下のいずれかに該当するもの

- ① 地域特性を活かしたもの
- ② 地域住民への意識啓発に効果的なもの
- ③ 住民や地域に貢献しているもの
- ④ 積極的、継続的に取り組まれているもの
- ⑤ 新たな生活様式への提案であるもの
- ⑥ 今後のモデルとして、波及効果が期待できるもの

例えば

- 使われなくなった建物を活用して行われているまちの活性化活動
- 地震等の自然災害に備えた地域での取組
- 高齢者世帯、子育て世帯に対する地域での居住支援活動

など

審査経過

募集結果

募集期間●令和3年7月1日～9月21日

応募総数●49件

審査経過

第1次審査●書類審査により第2次審査の対象を選定（活動部門は全て第2次審査へ）

審査期間●令和3年9月30日～10月14日

選出件数●29件

第2次審査●現地審査の上、審査委員会により表彰候補18件を選定

現地審査●令和3年10月29日～11月19日

最終審査会●令和3年11月24日

選出件数●18件 【建築物部門】11件 【活動部門】7件

表彰式

開催日●令和4年3月9日（予定）

授与式●建築主又は活動実施者、設計者及び施工者に賞状を授与します。

また、建築主及び活動実施者に、副賞として表彰銘板（石州敷瓦）を贈呈します。

審査委員

《審査委員長》 細田 智久（国立大学法人 島根大学 総合理工学部建築デザイン学科 教授）

《審査委員》 坂本 拓三（（一社）島根県建築士事務所協会 副会長）

坪倉 菜水（（一社）島根県建築士会 専務理事）

福原 昌代（有限会社大石建築事務所 代表）

三浦 貴之（益田市 建設部 建築課長）

第2次審査対象一覧

●建築物部門

名称	所在地	名称	所在地
2階リビングのこだわりとセンス溢れる住宅	安来市	吹き抜けのある新しい町屋	奥出雲町
湖畔の家	松江市	禾と恵に咲くお宿 まつ	奥出雲町
ひよし保育園	松江市	レンタルスペース&キッチン 金吉屋	奥出雲町
空の家	松江市	なかのや旅館	大田市
富士見ヶ丘の家	松江市	古民家カフェ「茶と糍 梅田屋」	邑南町
忌部の離れ	松江市	いわみ温泉「霧の湯」	邑南町
受け継がれる家	松江市	邑南町スローハウス	邑南町
株式会社シーエスエー 新社屋新築工事	出雲市	「専光寺」鐘楼門	益田市
Y邸 新築工事	出雲市	介護複合施設まとい	益田市
孫の古民家	出雲市	Entô Annex NEST	海士町
永井隆記念館	雲南市	西ノ島町庁舎	西ノ島町
雲南古民家2021	雲南市	隠岐エネコ世界ジオパーク中核拠点施設（ジオゲートウェイ）	隠岐の島町

●活動部門

名称	所在地
空き家で人をつなぐ	松江市
どっこい舎	松江市
蔵宿 うずまさ	奥出雲町
栗寅	大田市
つどえる拠点&ゲストハウス コイサイド	邑南町

過去の受賞作品・活動一覧

平成19年度

〈最優秀賞〉

- 松江市雑賀八区町内会救助隊（松江市）

〈優秀賞〉

- しまねの木の家（松江市）
- 安国寺本堂改修工事（松江市）
- 奥谷町東区防災隊の活動（松江市）

〈奨励賞〉

- 古民家改修「囲いの家」
- 附帯屋根瓦工事耐震化及び耐震改修
- ポートピア松江ビル（松江市）
- 岩田邸（安来市）
- 松江しんじ湖温泉駅（松江市）
- 災害避難所におけるプライベートスペース「6家族のためのささやか安心空間」の試作および組立てマニュアルDVD制作事業

平成20年度

【設計・工事・技術提案部門】

〈奨励賞〉

- JR安来駅 観光交流プラザ（安来市）
- 海士中学校エコ改修（海士町）

【防災活動部門】

〈奨励賞〉

- 「耐震改修モデル設計による地域学習会」への参加を通じた耐震診断技術の習得及び耐震意識の啓発
- わが家の耐震改修工事

平成21年度

【技術部門】

〈優秀賞〉

- 菱浦魚集緑地広場整備（菱浦蔵改修工事）（海士町）

〈奨励賞〉

- 美保関橋津屋改修工事（古民家）（松江市）
- K邸（松江市）
- 本妙寺改修工事（出雲市）

【活動部門】

〈特別賞〉

- 地震防災ポスター（島根大学教育学部附属小学校）

平成22年度

【技術部門】（リフォーム工事）

〈優秀賞〉

- 時をつなぐ家（出雲市）

〈奨励賞〉

- 石見瓦再生の家（鹿足郡）
- 古民家劇的大改造（松江市）
- A邸増改築工事（松江市）

【技術部門】（新築工事）

〈奨励賞〉

- 木の香の家（K邸）（浜田市）

【活動部門】（地域防災活動）

〈優秀賞〉

- 防災活動（地震防災訓練）（松江市）

〈奨励賞〉

- 緊急地震速報を活用した県内初の避難訓練（松江市）
- 岡の目地区防災訓練（松江市）

平成23年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- ワークくわの木江津事業所（江津市）

〈優秀賞〉

- 渡橋の家（出雲市）
- 母里の家（安来市）
- カイダンダンノイエ（松江市）

〈奨励賞〉

- 『家族の健康を守る家』K邸（松江市）
- パティオのある家（出雲市）
- 五箇小学校木造校舎耐震改修（隠岐の島町）
- 石州瓦の家（大田市）
- 「築後139年を住み継ぐ、古民家再生」（益田市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 人間交流センターを舞台に広がる都市交流活動（雲南市）
- 地元の木材を生かした読書空間づくり活動（海士町）
- 平成23年度法吉地区防災訓練（松江市）
- 街の魅力を再発見するまちあるき企画の運営（松江市）

平成24年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- コクバンの家（松江市）

〈優秀賞〉

- 空に向う家（松江市）
- O邸（雲南市）
- 新しい出発「坂の下café morikame」（出雲市）

〈奨励賞〉

- 先人の技術を受け継ぐ家（安来市）
- 漆喰の家（出雲市）
- 『一畑電車大社前駅』の新しいかたち（出雲市）
- そらうみの家（浜田市）
- 潮騒の住処（益田市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 避難所運営体験の実践（出雲市）

平成25年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 家族が繋がる3世帯住宅（益田市）

〈優秀賞〉

- 古志原の家（松江市）
- 浜田市立中央図書館（浜田市）
- Traditional Style（出雲市）
- 北堀のいえ 民家再生（松江市）
- 見晴らしの家（松江市）
- 段々畑の家（出雲市）
- 食事処 小望月（出雲市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 《訪れる場所作り》佐世だんだん工房（雲南市）
- 大久地区災害対策活動（隠岐の島町）
- 奥出雲町わがとこ再発見ワークショップ（奥出雲町）

平成26年度

【建築物部門】

〈優秀賞〉

- かずと会館（安来市）
- 土間と大黒柱の有る家（益田市）
- のび・のび・のび（安来市）

〈奨励賞〉

- 中庭のあるローコスト住宅（出雲市）
- 求院の家（出雲市）
- ギャラリー記田屋（出雲市）
- ふるさと定住の古民家再生（安来市）
- 奥谷の家（松江市）
- 大田の家（大田市）
- 古民家DIY（松江市）

- 外中原町の2世帯住宅（松江市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- まちなか再生拠点 オープンスペース ichi（出雲市）
- 旧堀氏庭園活用協議会（津和野町）

平成27年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 安来切川の家（安来市）

〈優秀賞〉

- 土緑の家（奥出雲町）
- 抱陽の家（益田市）

〈奨励賞〉

- 海士町立海士小学校（海士町）
- 凹みの家（松江市）
- どま・まど・どま（松江市）
- 滑の家 中間領域を持つ二重断熱の家（邑南町）
- 姫原の住宅+事務所（出雲市）
- 横浜町の家（松江市）

【活動部門】

〈優秀賞〉

- 平成郷蔵普請（江津市）
- 三日市ラボ ～空き家再生プロジェクト～（雲南市）

平成28年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 善徳寺本堂（雲南市）

〈優秀賞〉

- 稗原の家（出雲市）
- ゆめの森こども園…だいかぞくが集う家（出雲市）

〈奨励賞〉

- 抱陽の家2（益田市）
- 外中原の家（松江市）
- Re：佐白の家（奥出雲町）
- 海士町立福井小学校（海士町）
- 丘の上の家（松江市）
- 灰色の家（出雲市）

平成29年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 広瀬基督教会（安来市）

〈優秀賞〉

- 八川の家/量カフェ（奥出雲町）
- T様邸個人住宅新築工事（松江市）
- 「城下町」N邸（松江市）

〈奨励賞〉

- 日本赤十字社 益田赤十字病院 院内保育所（益田市）
- 三刀屋の改修（雲南市）
- 蔵 懐古空間 一花（雲南市）
- 松江冷機株式会社 新社屋新築工事（松江市）
- さぎの湯荘 別邸 鷺泉（安来市）
- 家具師の家（出雲市）
- 出雲I邸（出雲市）
- 町屋のキッチン（出雲市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 井原を知る勉強会（邑南町）

平成30年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 大橋川河畔の家（松江市）

〈優秀賞〉

- ひゃくどみクリニック（出雲市）

- 古民家オフィスみらいと奥出雲（奥出雲町）

- 赤江の家（安来市）

〈奨励賞〉

- 茅葺き屋根のある家（出雲市）
- 隅木の家（浜田市）
- 大屋根の家（出雲市）
- 帯刀さんの家（出雲市）
- 四姉妹の家（出雲市）
- サクニマス交流センター（吉賀町）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- NPO法人ひらた空き家再生舎（出雲市）
- 矢上駅（出雲市）
- 住民と学生の参加による“隠岐の島町NOGINOVIハウス”改修事業の取り組み

令和元年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 日貫一日 安田邸・一揖（邑南町）

〈優秀賞〉

- 温泉津の住宅（大田市）
- 中庭を持つ静謐な家（益田市）

〈奨励賞〉

- PATISSERIE SUBSTANCE（出雲市）
- LEON building（出雲市）
- 段床のある藁の家（雲南市）
- 島根県立飯南高校寄宿舎【月根尾寮】（飯南町）
- 松江堀川の家（松江市）
- 宗教法人神慈秀明会 松江出張所（松江市）
- 黒の古民家（安来市）

【活動部門】

〈奨励賞〉

- 大学生による美保関古民家改修プロジェクト（松江市）
- 書嘉庵（個人図書室）（松江市）
- 江津駅前ビルのリノベーション（江津市）

令和2年度

【建築物部門】

〈最優秀賞〉

- 光幼稚園（出雲市）

〈優秀賞〉

- 願い雛ミュージアム（出雲市）
- 神名火山の古民家（出雲市）
- 日原にぎわい創出拠点「かわべ」（津和野町）
- M-邸（松江市）
- 郡山のレストラン（邑南町）

〈奨励賞〉

- 雲南の方形屋根（雲南市）
- 中庭を囲む平屋（出雲市）
- 高瀬川の家（出雲市）
- RISTORANTE MIA PAESE ～ 私の故郷（浜田市）
- 方杖の家（邑南町）
- 徳應寺納骨堂 無量寿堂（安来市）
- 西ノ島町コミュニティ図書館「いかあ屋」（西ノ島町）

【活動部門】

〈優秀賞〉

- 天神127（松江市）

〈奨励賞〉

- カフェ&ベッド うづい通信部（邑南町）
- ショッピングリハビリ（ひかりサロン）（雲南市）
- アートビレッジ構想実現グループ（古典技法絵画研究所・親木遊空俱樂部）（雲南市）
- コミュニティカフェ Orange（川本町）

〈特別賞〉

- 蔵：Re（松江市）

《主催》 島根県

《後援》 島根県建築住宅施策推進協議会

(一社)島根県建築士会、(一社)島根県建築士事務所協会、(一社)島根県建設業協会、
(一社)島根県建築技術協会、(一社)島根県住まいづくり協会、(一社)島根県建築組合連合会、
(一社)島根県電業協会、(一社)島根県管工事業協会、(一社)島根県浄化槽協会、(一社)島根県木材協会、
石州瓦工業組合、島根県左官工業協同組合、島根県建具協同組合、
(協組)建築技術センター、(一財)島根県建築住宅センター、
(公社)島根県宅地建物取引業協会、(公社)全日本不動産協会島根県本部、
島根県畳事業協同組合

令和4年3月発行

島根県土木部建築住宅課